

日本脳神経血管内治療学会北海道地方会
臨時幹事会 議事録

開催日時 2022年12月6日(火) 17:35-18:20

場所：Web開催

出席者氏名 大川原舞、荻野達也、長内俊也、片岡丈人、金相年、久保田司、
黒岩輝壮、高田達郎、野村達史、原口浩一、山崎貴明、和田始(以
上、幹事12名)

審議事項 新監事及び議事録について

1. 代表幹事の野村達史より幹事12名の参加確認を行い、開会を宣言した。
2. 議事録署名人として、片岡丈人と原口浩一を指名した。
3. 荻野達也より監事の選任に問題があり、監事を新たに選任すべきとの提案があった。
4. 大川原舞より資料の如く2020年に会則変更に至った経緯の説明と、会則の新たな文言追加について提案、また議事録作成と役員名簿等の更新の徹底の依頼があった。
5. 野村達史より、特定非営利活動促進法を根拠に「監事は、理事または特定非営利法人の職員を兼ねてはならない」、「監事は、団体や理事から独立した存在であること」の説明があった。
6. 片岡丈人より、監事には会長経験者が望ましいと提案があり、承認された。
7. 長内俊也より、監事退任後は幹事に再就任できるよう、会則変更の提案があり、承認された。
8. 片岡丈人より、監事は1名が望ましいと提案があり、承認された。
9. 和田始より、年配の幹事から2年の任期で監事に就任してはどうかとの提案があり、承認された。
10. 高田達郎より、地方会会長は幹事である必要があるかとの質問があったが、野村達史より会長は指導医であることが条件で、幹事が条件ではないこと、大川原舞より会長は前年度の幹事会参加可能であると説明があった。
11. 久保田司より新監事就任の立候補があり、全会一致で承認された。
12. 野村達史より、会則改訂を来年度の総会で承認を得ることを確認、またそ

の他の議題のない事を確認して、閉会を宣言した。

以上の議事の顛末を記録し、これを称するため署名する。

年 月 日

議長_____

議事録署名人_____

議事録署名人_____